

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE 広島 2016年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

欄に数値またはコメントを記入

(仮称)ヴェルディ牛田新町三丁目 武蔵館 新築工事

配慮項目	評価点	重み係数	内訳										
■1.「地球温暖化対策」の推進													
1.1 建物の熱負荷抑制													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 居住部は外皮全てに断熱材施工	3.0	0.25	Q1 室内環境	2 溫熱環境	2.1 室温制御	2 外皮性能							
	3.0	0.75	LR1 エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制									
小計	3.0	0.14											
1.2 自然エネルギーの利用													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 専用部は2方向以上外皮に面し有効な採光・通風を確保	3.0	1.00	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用									
小計	3.0	0.05											
1.3 設備システムの高効率化													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 節水型器具の採用	5.0	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの高効率化									
小計	5.0	0.26											
1.4 設備システムの効率的運用													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください	3.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	4.1 モニタリング							
	3.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	4.2 運用管理体制							
	3.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅の評価	4.1 モニタリング							
	3.0	0.50	LR1 エネルギー	4 効率的運用	集合住宅の評価	4.2 運用管理体制							
小計	3.0	0.10											
1.5 資源・マテリアル対策													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 設備機器は節水用、節水機能のものを使用する。	4.0	0.10	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水								
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無							
	0.0	0.00	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	2 雜排水等利用システム導入の有無							
	2.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減								
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用								
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用								
	1.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 車体材料以外におけるリサイクル材の使用								
	2.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材								
	3.0	0.15	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み								
小計	2.7	0.31											
1.6 ライフサイクルCO2排出率													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 条例に定められた緑化面積を確保し、温暖化に配慮。	5.0	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮									
小計	5.0	0.13											
1.「地球温暖化対策」の推進の評価													
■2.「ヒートアイランド対策」の推進													
2.1 湿熱環境の向上													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出									
	3.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上								
	2.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善								
	小計	1.8	0.96										
2.2 交通負荷抑制													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制							
小計	3.0	0.04											
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価													
■3.「長寿命化対策」の推進													
3.1 耐用性の向上													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 劣化対策等級が等級2相当である。	3.0	0.50	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	1 耐震性(建物のこわれにくさ)							
	3.0	0.13	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 耐震・免震・制震・制振	2 免震・制震・制振性能							
	4.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 車体材料の耐用年数							
	3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							
	2.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							
	3.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔							
	3.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔							
	2.0	0.08	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔							
	小計	3.0	0.44										
3.2 設備の更新性													
(コメント) ※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性							
	2.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給排水管の更新性							
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性							
	3.0	0.10	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性							
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性							
	3.0	0.20	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペースの確保							
	小計	2.8	0.56										
3.「長寿命化対策」の推進の評価													
■重点項目の総平均(上記3項目)		3.2											